

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース

HACE

No.137

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

第28回北海道臨床工学会開催予告

■ 学会長	大宮 裕樹 (KKR 札幌医療センター)
■ 学会事務局長	加藤 敏史 (石狩病院)
■ 会期	2017年11月19日(日)
■ 主催	公益社団法人北海道臨床工学技士会
■ 受付開始	8:45 ~
■ 開演	9:10 ~
■ 会場	北海道大学 学術交流会館 札幌市北区北8条西5丁目 JR札幌駅から徒歩8分
■ 参加費	正会員:¥4,000 賛助会員:¥4,000 非会員:¥6,000 学生:¥1,000

平成29年11月19日(日)第28回北海道臨床工学会が開催されます。

会員皆様の日常業務及び創意工夫、研究など多数の演題発表をお願い申し上げます。

また、参加を予定されている方や関係者の皆様におかれましては、内容変更や確定事項があるごとに「公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページ」を随時更新いたしますのでご確認ください。

時節柄、御多忙のことと存じますが多数の参加をお願い申し上げます。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.137

第28回北海道臨床工学会開催予告	1
第1回Yボードミーティング終了	4
危機管理委員会よりお知らせ	5
支部制導入に関するお知らせ①	6
RM ニュース	7
理事会からのお知らせ	7
学会誌電子ジャーナル無料閲覧サービスのご案内	7
北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展	8
10月からの予定表	9
重要!!財務委員会からのお知らせ	9

北海道臨床工学会へ参加される皆様へ

◆◆◆ 発表者の皆様へご案内 ◆◆◆

- ポスター発表はありません。すべて口演となりますのでポスターで登録された方も必ずUSBでデータをお持ち下さい。
- ご発表頂きます時間の少なくとも30分前までに必ず会場受付にお越し下さい。試写と通過確認を致します。ファイルが開かないなどのトラブルを考え早めにお越し下さい。
- ★PC持ち込みの方も必ず事前に受付を済ませて下さい。
- 一般演題発表者は発表予定時間10分前には次演者席にご着席下さい。
- 一般演題の口演時間、討論時間は演題数によって調整します。(前年度は口演6分、質疑応答2分 両方とも長くなることはありません)
- 一般演題発表中、5分で1回、6分で2回のチャイムを鳴らしてタイムリミットであることをお知らせします。
- 発表中のスライド操作は発表者に行って頂きます。音声の利用はできません。
- 発表データファイルを保存したUSBメモリをご持参下さい。USBメモリは、突然認識しなくなるなどのトラブルがありますので、バックアップのUSBメモリも準備しておくことを強く推奨致します。
- 事務局にてご用意しておりますパソコン(Windows)にはPowerPoint 2010以上のVersionをインストールしております。上記環境にて正常に作動するデータのご用意をお願い致します。対応ソフトはWindows版MicrosoftのPowerPointのみです。
- Macintoshで作成したファイルはWindowsで動作確認をしてからお持ち下さい。
- 動画は可としますが、事務局で用意するPCに動画再生に必要なVideo codecがInstallされていないなど、再生できないことが多々ありますのでご自分のPCを持参して下さい。
- ファイルの修正はPC受付コーナーで対応できるようにします。

◆◆◆ 座長の皆様へご案内 ◆◆◆

- 座長の皆様は、ご担当セッション開始30分前までに「総合受付」に到着の旨をお知らせ下さい。担当セッション開始10分前には次座長席へご着席下さい。
- 担当セッションは必ず時間内に終了するよう格段のご配慮をお願い致します。

◆◆◆ 討論、質疑応答でのお願い ◆◆◆

- 質問は所属・氏名を述べたのち要点のみを簡潔に発言し、限られた時間内で有意義な討論ができるようご配慮下さい。

(重要!!) 演者の皆様へ 投稿原稿提出についてのお願い

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
広報委員会

今回、発表される一般演題を会誌に掲載いたします。掲載を希望される方で、学会当日に投稿原稿を提出されない方は、「投稿・執筆規定」に従い、下記の期日までに必ず投稿原稿を提出して下さい。提出は郵送でもメールでも受け付けます。

編集用に用意しているパソコン(Windows)には、MicrosoftのWord2010とPower Point2010に対応できるようにしています。原稿はWord、図表にはPowerPointを用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送り下さい。また、図表は白黒に修正してからお送り下さい。

なお、公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在ISSN登録となっています。今回発表される内容を他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿とみなされますので、注意をお願いいたします。

記

締め切り期日：2018年1月12日(金)必着

原稿送付先：〒070-8610

北海道旭川市金星町1丁目1-65

市立旭川病院 臨床工学室

澤崎 史明 <Sawasaki Fumiaki>

Phone : 0166-24-3181(内線3905)

FAX : 0166-24-1125

Mail : f_sawasaki@city.asahikawa.hokkaido.jp

※後日投稿の意志に変更が生じた場合も、上記まで連絡をお願いいたします。

北海道臨床工学技士会 投稿・執筆規定

1. 北海道臨床工学技士会会誌では、研究論文、研究速報、症例報告など、他誌に未発表の原稿を掲載します。
2. 投稿は北海道臨床工学技士会会員とします。
3. 北海道臨床工学技士会会誌へ掲載されたすべての論文の著作権は、本会に帰属します。
4. 原稿提出の基本
 - 1) 原稿の大きさはA4判(縦使用)横組み、パソコンにて、1行40字×40行(1600字)にしてください。
 - ・日本語の通常字体にはMS P明朝、太字にはMS Pゴシックを用いる。また、英文の通常字体にはTimes New Roman、太字にはArialを用いる。ほか、題名は14Pとし、本文は10.5Pとする。単位は、国際単位系(SI)を使用する。
 - 2) 図表はA4用紙に図表だけをプリントアウトした物を提出してください。
 - 3) 原稿枚数は規定しませんが、図表の合計は10点以内を目安にしてください。
 - 4) 図表を含めた提出原稿は、原本の他にコピーを添付してください。
 - 5) 提出原稿は、プリントアウトしたもの1部とCD-RまたはDVD-R(Windowsのフォーマットでワード文かテキストファイルで保存)を添付してください。なお、提出して頂いたメディアは返却致しません。
5. 投稿原稿の採否は、編集会議で討議し決定します。また、編集規定に従い原稿の加筆・訂正・削除などをお願いする場合があります。
6. 原稿執筆の順序
 - 1) 研究論文、研究速報および症例報告の記載は以下の様にして下さい。
 1. 緒言 (はじめに、まえがき)
 2. 研究方法 (対象、症例、方法)
 3. 研究結果 (結果)
 4. 考察
 5. 結論 (結語、まとめ、おわりに)
 - 利益相反
 - 参考文献

2) 見だし番号は以下の様にしてください。

1. _____見だし

1). _____小見だし

(1)

7. 利益相反 (COI) の公開

投稿論文内容に関して、筆頭著者または連名著者が自身の所属する機関・団体以外の企業あるいは営利団体と、利益相反関係がある場合に明示してください。

*利益相反がない場合には「利益相反はありません」、「利益相反はない」などと記してください。

*利益相反がある場合には「本研究は〇〇社(企業名など)より資金提供をうけた」、「本検討は〇〇社(企業名など)と協同研究によってなされた」、「本論文は〇〇社(企業名など)より測定装置(材料など)提供をうけた」と具体的に記してください。

*判断に迷う場合は、お問い合わせください。

8. 参考文献の記載方法

本文中の参考文献番号は引用順とし、文中に右肩付文字にて記載し(引用順⁽¹⁾)引用箇所を表示してください。

1) 参考文献の書き方

(1) 雑誌の場合

・著者名,共著者名,共著者名,ほか: 論文題名, 雑誌名巻(号); 初頁-終頁,発行年.

(2) 単行本の場合

・著者名: 書名. 版, 出版地. 出版社. 発行年. 初頁-終頁

*共著の場合は、その氏名を3人とし、3名以外の扱いは「3人目の氏名, ほか: 」と記載してください。

9. 図表の規定(写真は図として扱う)

1) 図表に使用する文字はMS P明朝を使用して下さい。

2) 提出する図表は、白黒で光沢鮮明な手札(Lサイズ写真)以上の写真、または同等以上の解像度を有したものにして下さい。

3) 図題は図の下に、表題は表の上に記載して下さい。

第1回 Y ボードミーティング終了



Y ボードミーティングの様子

2017年7月22日(土) TKP 札幌カンファレンスセンターにおいて、第1回 Y ボードミーティングが開催され、若手からベテランまで総勢41名が参加されました。

第1部では、北海道 Y ボード担当の池田事務局長から「Y ボードって何?」、「今さら聞けない働く上での大切なこと」という内容でご講演頂きました。Y ボードの Y は、【young:若い】の頭文字を意味しており、今回のミーティングは、20~30 代の今後の技士会を担う若手技士が情報共有、発信、帰属意識の向上を図るために開催されました。

また、「各施設の若手の今」と題して、三施設の演者からご発表がありました。現在の業務内容や今の悩み、今後の展望など実体験を交えて紹介して頂きました。若手と言いながらも落ち着いた口調で堂々と発表されている姿や、質疑応答では皆さんが本音で質問に答えている姿がとても印象的でした。参加者も自身の体験として共感できる部分や今後経験するであろう事柄として熱心に聴き入っているように見受けられました。

さらに教育委員会の宗万委員長から「臨床研究について」という内容でご講演頂きました。日常から様々なことに疑問を感じて、なぜ? どうしてそうなったのか? という気持ちを持ち、研究に繋げていく事が大切であるという考え方や、論文検索の方法や論文を読む事の意味、スライド作成のポイントなどすぐにでも役に立つ内容を丁寧に教えていただきました。臨床研究の手順についてもご紹介して頂き、若手のみならず、すべての年代の技士にとって有意義な内容となっております。

第2部では、場所を変えて情報交換会の場が設けられました。会場には若手技士だけではなく、各委員会の委員や理事、名誉会員が参加しており、年代問わず交流を深めていました。Y ボードミーティングの目的の一つである、縦と横のつながりを築くことが出来た良い機会になったと思われました。

ご多忙の中ご講演頂いた先生の皆様、参加された皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。(広報 東)



第2部の様子

北海道医療新聞に掲載

第1回 Y ボードミーティングの様子は、8月4日の北海道医療新聞にも掲載されました。

記事では、Y ボードミーティング担当である北海道臨床工学技士会池田純幸事務局長や、参加された方々のお話とともにその様子が紹介されました。

北海道医療新聞 2017年(平成29年)8月4日

業務上の不安 解決模索

若手技士集うYボード初開催

道臨工

2017年8月4日：北海道医療新聞掲載

「フリーディスカッションも行った」

「Yボードは、若手技士が情報共有、発信、帰属意識の向上を図るために開催された」と池田事務局長は話した。

「Yボードは、若手技士が情報共有、発信、帰属意識の向上を図るために開催された」と池田事務局長は話した。

「Yボードは、若手技士が情報共有、発信、帰属意識の向上を図るために開催された」と池田事務局長は話した。

「Yボードは、若手技士が情報共有、発信、帰属意識の向上を図るために開催された」と池田事務局長は話した。

危機管理委員会よりお知らせ

危機管理委員会では、「北海道臨床工学技士会 災害対策マニュアル」の作成に取り組んでいます。今回は、検討中の「北海道臨床工学技士会の災害時情報共有体制の原案」について紹介します。このマニュアルでは、日本透析医会災害時情報ネットワークとの情報共有体制についても記載していますが、透析医療以外の団体や組織等との情報共有体制についても、検討を始めたところです。

北海道臨床工学技士会の災害時情報共有体制（原案）

① 地域の情報共有体制構築（図1）

道内各地域に在籍する臨床工学技士の中から、地域ごとに「HACE 災害情報コーディネーター」を任命し、担当地域の災害時情報共有体制の構築をすすめていきます。

＜HACE 災害情報コーディネーターの主な役割＞

1. 災害時における、担当地域の情報集約と発信
2. 近隣地域間の情報共有
3. 被災地の情報発信代行

（被災地で対応不能時、可能な範囲で対応）

② 災害時の情報共有フロー

災害時は、「災害時の情報共有フロー」（図2）によって、情報共有を行う体制を考えています。迅速な情報共有のツールとして、メーリングリスト等を検討しています。これらの情報は、技士会会員のほか、関連企業や団体、また行政へも提供できるよう、ネットワークを検討しています。

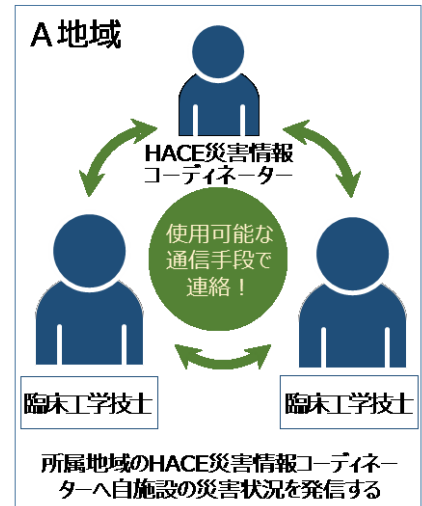


図1 HACE 災害情報コーディネーターによる地域の災害時の情報共有体制

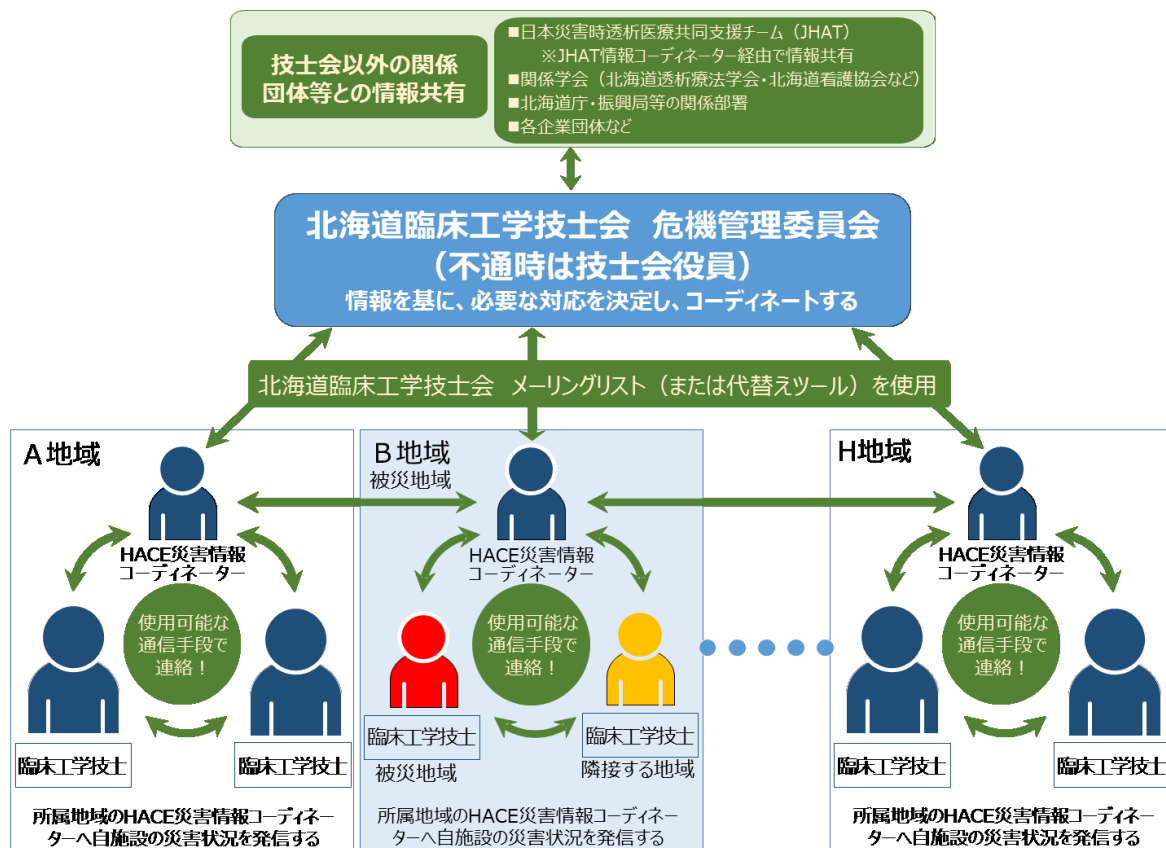


図2 災害時の情報共有フロー

道民の医療を守るために、皆様のご協力をお願い致します。

支部制導入に関するお知らせ ①

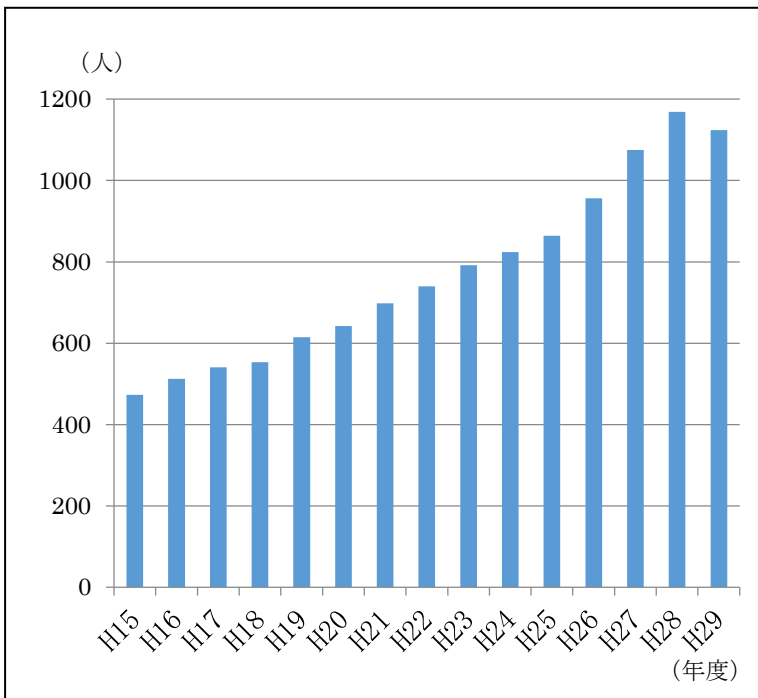
北海道臨床工学技士会の会員数は、1124名(平成29年9月現在)となりました。現体制のままでは、限界を感じてきたことから、支部制の導入を検討しています。今後は、協議事項や実際の活動内容等々の情報を技士会ニュースにて発信していきます。

平成元年に職能団体として設立した北海道臨床工学技士会は、平成15年4月に社団法人へ、さらに平成22年11月に公益社団法人へ移行しました。会員数は増加を続け、現在では1124名(平成29年9月)となりました(図1 参照)。その分布は、石狩地方が約580名(札幌市内470名)であり、半数以上の約600名は全道各地で活躍されています。

その中には、当会開催のセミナーや学会へ参加したくても、移動時間や交通費・参加費などの理由で機会を逃した経験がある方もいらっしゃると思います。平成28年度よりセミナーへの正会員参加費を減額対応しましたが、それだけでは解決できていません。

そこで、広域なセミナー事業展開と当会のさらなる発展を目的に、支部制の導入を検討しています。北海道を9支部に分け(図2 参照)、支部ごとにセミナーなどを開催することで移動時間などの問題を解決に導きたいです。また、当会の公益事業であるAED日常点検講習の活性化や災害時の情報共有や連携へも今まで以上に寄与できると考えています。

現在、各地区からの代表者で構成している組織委員会にて「支部制に関して」協議をしています。今後も技士会ニュースや各地区での勉強会等通じて、支部制に関しての説明をさせていただきます。会員の皆様にはご理解とご協力をいただき、今後の支部制導入に向けての情報に注目していただきたいと思います。



(図1 : 年度別正会員数の推移)

支部 地区分け

- ・ 石狩 (石狩地方)
- ・ 道北 (宗谷地方・上川地方)
- ・ 釧根 (釧路地方・根室地方)
- ・ オホーツク (網走地方)
- ・ 十勝 (十勝地方)
- ・ 空知 (空知地方・留萌地方)
- ・ 日胆 (胆振地方・日高地方)
- ・ 後志 (後志地方)
- ・ 道南 (檜山地方・渡島地方)

(図2 : 支部 地区分けの構想)

◆RM ニュース◆

<在宅酸素療法は火災に注意

厚生省が呼び掛け>

病気のため体内に十分な酸素を取り込めない患者が自宅で酸素を吸入する「在宅酸素療法」の最中に火災が相次いでいるとして、厚生労働省が注意を呼び掛けている。

この療法は、呼吸機能の低下により不足する血液中の酸素を、高濃度の酸素を吸うことで補うのが目的で、息苦しさも改善される。高度慢性呼吸不全や慢性心不全の一部、肺高血圧症などの患者が、医師の判断、指示の下で利用する。

日本産業・医療ガス協会(東京)によると、国内の在宅酸素療法の患者は推定で16万～17万人。

ただ、酸素は物を燃えやすくする性質があり、酸素吸入中に近くに火気があると酸素チューブや患者の着衣に引火する危険性がある。

協会が在宅酸素療法との関係が否定できない火災を集計したところ、2003年12月から今年5月までに計66件発生し、63人が死亡したことが分かった。うち、今年だけで大阪、愛知、熊本の3府県で計4人が亡くなっている。酸素吸入中の出火原因の43%が喫煙で、ストーブや調理用こんろの使用、線香などにも注意が必要だ。

厚生省が注意喚起のために作製、公表したリーフレットは、この療法に使う装置の添付文書、取扱説明書などには「火気を近づけないこと」と明記されているとして、治療中の患者は禁煙を守るなど周囲2メートル以内に火気を置かないよう要請。

一方、使用される酸素濃縮装置や酸素ボンベは正しい取り扱いを守れば安全であるため、周囲の人がそうしたことを理解して患者に接するよう求めている。

2017年8月8日(火) 配信:共同通信社

<使い捨ての医療機器、洗って再使用>

兵庫県の病院は29日、厚生労働省の通知で手術後に廃棄するよう定められている医療機器を、洗浄して患者130人に再使用していたと発表した。同病院によると、感染症など患者の健康被害は確認されていないが、手術後1年間は経過観察を行うという。

この機器は、骨に穴を空けるドリルの先端に取り付ける金属製器具4種類。昨年12月から今年7月末にかけて、医療機器の洗浄を担当する複数の看護師が事前協議をせずに、手術で1度使った器具を洗浄、滅菌し、整形外科と脳神経外科で135回の手術に再使用していた。

7月中旬に厚生省から西宮市保健所に情報提供があり、8月1日、同保健所と近畿厚生局が立ち入り検査。その後、同病院を文書で是正指導した。

病院によると、看護師らは「厚生省の通知は知っていたが、滅菌して安全性が担保されていれば再使用しても問題ないと思っていた」と説明。同病院は看護師らの処分を検討する。

2017年8月30日(水) 配信:神戸新聞

理事会からのお知らせ

8月1日(火)に行われた理事会で以下の報告、協議がなされました。

報告事項

1. 事務局(新入会、退会報告)
2. 財務報告
3. 各委員会報告

協議事項

議案1. 委員について

手当について、委員会活動中の保険について、委嘱期間について、活動に関する依頼状

議案2. 第57回日本生体医工学会大会協賛依頼について

議案3. 北海道東北連絡協議会について

議案4. 日本臨床工学会北海道誘致について

議案5. 支部制について

議案6. 安全委員会委員増員について

議案7. ライブオン導入について

(WEB 会議導入について)

議案8. 後援・共催規定の見直し

議案9. 後援・共催依頼

学会誌電子ジャーナル 無料閲覧サービスのご案内

「北海道臨床工学技士会会誌」に掲載された過去の論文を電子化し株式会社メテオが提供する文献検索サイト、メディカルオンラインで閲覧することが可能となりました。

◎2017年度アカウントについて

(2018年3月末日まで有効)

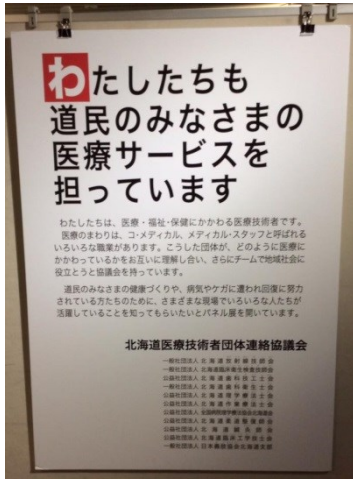
道臨工会員専用 ID : 1100007199-02

パスワード : s24abk2r

雑誌名 : 北海道臨床工学技士会会誌

雑誌 URL : <http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ey2rinsy>

北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展 (「チ・カ・ホ」パネル展)



去る平成 29 年 8 月 26 日(土)、札幌市地下歩行空間におきまして北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展が開催されました。これは北海道医療技術者連絡協議会が主催し、医師や看護師以外の医療技術者団体を道民に対して広くアピールする場として毎年開催されています。

今年のパネル展は北海道理学療法士会が幹事を務め、パネルの設営、撤収、足を止めて下さった方への対応などを各団体と協力して行っていました。

開催当日は雨のぱらつくあいにくの天気で、雨を避けようと「チ・カ・ホ」の人通りも多く、足を止めてくれた方も昨年より増えており、医療における各職種の役割や業務内容などをアピールする、良い機会となりました。

北海道臨床工学技士会の展示場所は、北海道歯科技工士会や北海道歯科衛生士会と隣接して、いて応接ブースも共有していたため、それぞれの専門分野への質問に協力してあたりました。



パネルの前で対応にあたる中谷公益委員長

特に「私、ペースメーカーが入っているの」と切り出しブースへ入ってきた女性は、「外来でペースメーカーを診てくれたり、心臓カテーテル検査の時に声をかけてくれた技士さんが臨床工学技士さんだったのね」と嬉しそうに話してくれました。また、ペースメーカーの説明で「歯医者さんに行ったら必ずペースメーカーが入ってる事を伝えてね、と言われたけどどうして?」と質問された際には我々と一緒に歯科技工士、歯科衛生士の方も説明に加わり、「だから歯石とりのときに機械を使わずに手で一生懸命やってくれていたのね」と日頃の疑問を解決してくれたようでした。

その他にも「もっと早く知っていたら息子に薦めたのに」、「どんな学校に行ったらなれるの?」、「これは資格がないとやっちゃダメなのかい?」など、興味を示してくれる方が何人かいらっしゃいました。

昨年に引き続き対応した、村谷公益副委員長は「パネルの約半分を壁に展示する事でよりコンパクトなパネル展示となっております。昨年よりも展示スペースが狭くなり通路側に出ないようにとの事でしたが、それなりに興味のある方々が観覧し説明をさせて頂きました。」と振り返ります。

今年のパネル展では、昨年に比べ興味を示してくれる方が多く、臨床工学技士をはじめとする医療技術職について他団体と協力してアピールでき、認知度を上げることができる非常に意義のあるものだったと思われました。

(広報担当理事 木村)



歩行者への説明にあたる奥山広報委員長

10月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

2017年10月8日(日)・9日(祝)
「第43回日本体外循環技術医学会
学術大会 in 札幌」

会場 札幌コンベンションセンター
<http://www.c-linkage.co.jp/jasect2017/>

2017年10月14日(土)・15日(日)
「第4回北海道・東北臨床工学会」

会場 東北文化学園大学
<http://ce-miya4.umin.jp/>

2017年10月29日(日), 12月3日(日)
「第9回血液浄化 StepUp ビデオセミナー」

函館会場 10月29日:函館五稜郭病院 会議室
室蘭会場 12月3日:日鋼記念病院 講堂
<http://www.jyouka.com/>

2017年10月29日(日)
「第12回医療安全セミナー
内視鏡業務の安全管理」

会場 KKR札幌医療センター
http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/info_study/2017/12th_safety.html

2017年11月24日(金)
「医療ガス安全講習会」

会場 エア・ウォーター株式会社
菊水研修センター
http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/files/pdf/h29files/gas_zenen_air_water.pdf

その他開催予定のセミナー
詳細が決まり次第、北海道臨床工学技士会ホームページに掲載致します。

2017年11月11日(土)
「アフレシス血液浄化技術セミナー2017」
会場 札幌北楡病院

2017年11月26日(日)
「第18回北海道透析技術談話会」
会場 北海道大学学術交流会館

重要!! 財務委員会からのお知らせ 平成29年度年会費(4回目)自動口座振替日の連絡とお願い

平成29年11月27日(月)に本年度最後となる年会費自動口座振替をおこないます。今回の対象者は、平成29年7月以降に新入会手続きをおこない自動振替の手続きが完了している正会員になります。

会員の皆様におかれましては、登録口座の内容に変更がないかどうか、また残高が十分かどうかなどを事前にご確認頂くようお願いいたします。なお、登録の自動振替口座の変更がある場合や諸事情により当会を退会する予定の会員は至急事務局にご連絡ください。

お問い合わせ先

技士会ホームページ「お問い合わせ」→「技士会事務局へのお問い合わせ」よりご連絡ください。

CARDIOSAVE & TRANS-RAY PLUS

More Convenient, More Safety

MORE THAN A PUMP. A REVOLUTION
CARDIOSAVE
血行動態サポートの新しいスタンダード
販売名: 大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE
医療機器承認番号: 22500BZX00029000



Fiberoptic IABs for Japanese Anatomy
TRANS-RAY PLUS
日本人の体型にあわせて光センサー IABカテーテル
販売名: IABカテーテル TRANS-RAY PLUS
医療機器承認番号: 22800BZX00109000

製造販売元
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 アキュート・ケア・セラピー事業部
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲 23F TEL: 03-5463-8310 FAX: 03-5463-6857
第一種医療機器製造販売業許可番号 13B1X00176 (For more information visit www.getinge.com)





**改正医療法
施行規則対応**

**ME機器管理システム
Me-ARC**

ME機器チェックと 機器管理システムが連動!

院内ME機器チェックとME機器管理システムが連動し、保守・点検時に測定した各種データやレポートを、自動的に電子データにて管理! 同一システム上で精度管理と機器管理が行えます。

機器の運用情報を可視化

オートテスト・自動判定機能

タグを使用し簡単所在管理

テストレポート自動作成・管理

MEETS 株式会社 メッツ TEL (03) 3888-8445
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7 sales@mets-tokyo.jp www.mets-tokyo.jp

日本語ソフトとの連携で、
簡単・効率的にテスト!



ME機器チェック

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111



SafeTech®

セーフテック®輸液ポンプ
FP-N11



安全と使いやすさを、その先へ

「クランプリング®システム」 「3Dプレス®方式」 カラー大画面を採用

医療機器分類: 高度管理医療機器(クラスII)、特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 22600BZX00005000 一般的名称: 汎用輸液ポンプ

問い合わせ先  発売 ニプロ株式会社 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

 製造販売 ノーリツプレジジョン株式会社 和歌山市梅原579-1

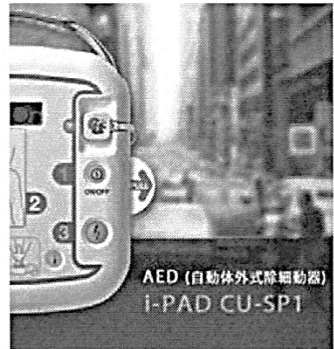
2017年5月作成

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~


AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人も簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されております。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

AG 最新医療機器と最新知識の提供を目指す
株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階
TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016
〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>



AED(自動体外式除細動器)
I-PAD CU-SP1



TORAY
Innovation by Chemistry

生体適合性を追求した
モイストタイプ ヘモダイアフィルター。

トレライト®HDF

NVF

販売名: トレライト®HDF
一般的名称: 血液透析濾過器
医療機器承認番号: 22800BZX000367000
医療機器区分: 高度管理医療機器

販売業者
東レ・メディカル株式会社
<http://www.toray-medical.com/>

製造販売業者
東レ株式会社



高リン血症治療剤
 処方箋医薬品[※] 注)注意—医師等の処方箋により使用すること。
ピートル[®] チュアブル錠 250mg 500mg
P-TOL[®] Chewable Tab.
 スクロオキシ水酸化鉄(sucroferic oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 **キッセイ薬品工業株式会社**

松本市芳野 19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
 <資料請求先> <すり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
 TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3012KD
2017年1月作成

針刺し防止機構付き透析用留置針 **Happycath NEO**



メディキット株式会社

発 元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
 製造販売元：東都メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字池川 17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

- フルカバータイプのセーフティ機能
- カテーテル表面の潤滑性向上



医療機器認証番号：21200BZZ00547000
 販 売 名：ハッピーキャス クランプキャスP

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA Version 7 Hospital Management System

WEBアプリケーション フルモデルチェンジ



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL:011-644-6100



薬剤投与を、スマートに。

TERUMO

Smart Infusion System

テルフュージョン輸液ポンプ LM 型 / テルフュージョンシリンジポンプ SS 型

一般的名称:汎用輸液ポンプ 販売名:テルフュージョン輸液ポンプLM型
 医療機器承認番号 22400BZX00229 特定保守管理医療機器
 一般的名称:注射筒輸液ポンプ 販売名:テルフュージョンシリンジポンプSS型
 医療機器承認番号 22400BZX00231 特定保守管理医療機器

製造販売業者：テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp
 TERUMOはテルモ株式会社の商標です。テルフュージョンはテルモ株式会社の登録商標です。 ©テルモ株式会社 2015年12月

Johodai

進化する情報大で、未来を拓こう。



あなたを大切に育てる e環境
北海道情報大学

〒069-8585 北海道江別市西野幌59-2 TEL 011-385-4411 (代表)

お問い合わせは [広報室] ☎ 0120-83-4411

北海道情報大学 www.do-johodai.ac.jp/ オープンキャンパス 参加申込みQRコード

- 経営情報学部
- 先端経営学科 ● デジタルビジネス専攻
 - システム情報学科 ● システム情報専攻
 - 宇宙情報専攻
- 医療情報学部
- 医療情報学科 ● 診療情報管理専攻
 - 臨床工学専攻
- 情報メディア学部
- 情報メディア学科 ● メディアデザイン専攻
 - メディアテクノロジー専攻



臨床工学技士コースのスタートに合わせ 最新環境の「臨床工学実習室」誕生!





株式会社ほくやく 竹山ホールディングス

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

Medical Support Service Provider

血液浄化

低侵襲機器

内視鏡

「専門領域に特化した支援・サポート」ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。

整形外科

眼科

脳神経外科

循環器

画像診断機器

テクニカルサポート



株式会社 竹山

代表取締役社長 土田 拓也

本社/〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5 ☎011-611-0100 (FAX) <http://www.takeyama.co.jp>
 旭化成メディカルトレーニングセンター/〒060-0841 札幌市中央区北1条西4丁目1番1号(〒060-0841) ☎011-700-5833 <http://www.takeyama.co.jp/villageplus/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

【札幌・函館】中央支店: ☎011-859-8714	北支店: ☎011-859-8715	札幌支店: ☎011-859-8717
北大富支店: ☎011-859-8712	札幌支店: ☎011-859-8713	帯広支店: ☎011-859-8716
札幌支店: ☎011-859-8711	札幌支店: ☎011-826-5161	帯広支店: ☎0133-77-5205
【道央・道南圏】支店: ☎0143-45-1221	苫小牧支店: ☎0144-53-2101	小樽支店: ☎0134-29-4624
岩見沢支店: ☎0126-26-6992	函館支店: ☎0139-33-5000	
【道東・道北圏】網走支店: ☎0154-25-2241	北見支店: ☎0157-31-3224	帯広支店: ☎0155-35-5800
旭川支店: ☎0166-73-3011	空知支店: ☎0126-54-3465	道北支店: ☎01654-3-9955
【管・都・圏】東京支店: ☎03-3814-0103	横浜営業所: ☎045-232-3310	

AsahiKASEI

ABH Series

- 実績のあるポリスルホン膜を採用
- 優れた生体適合性及び抗血栓性



血液透析装置
旭中空系型血液透析装置 ABH-PA

ABH-PA

中空糸と容器設計の最適化。
2.6m²まで幅広い膜面積のラインナップ。
高度精密ろ過機構
承認番号: 22900BZX00045000

血液透析装置
旭中空系型ヘモダイヤリター
ABH-F

中空糸内径の拡大により
血液側圧力損失を低減。
高度精密ろ過機構
承認番号: 22000BZX00069000

旭化成メディカル株式会社
<http://www.asahikasei-medical.co.jp>
No.2017.5-1790



いのちに携わる 責任と使命

NEXT 40
Anniversary
for medical



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965

JMSレーザ血流計 ポケットLDF

POCKET LDF

いつでも手軽に、正確な測定を

レーザ血流計は、非観血的に人体組織(皮膚表面)下の微小循環(細動脈、細静脈、毛細血管)の皮膚灌流(血流量)を計測するものです。

製造販売業者
株式会社 ジェイ・エム・エス <http://www.jms.co/>



非侵襲的 手の指先、耳葉、皮膚表面などで測定可能

小型 手のひらサイズ

無線 Bluetooth搭載

販売名: ポケットLDF 管理医療機器/特定保守管理医療機器
医療機器承認番号: 22600BZX00424000

お問い合わせ先 TEL 03-6404-0602

〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル
2017.05.JMS

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	北農会 恵み野病院	臨床工学科	日沖一木
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川医療センター	診療統括部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>